

お知らせ 車椅子を寄贈いただきました！ [山形県火災共済協同組合様より]

山形県火災共済協同組合様より昨年度に続き車椅子の寄贈をいただき、同組合井上常務理事様ご出席のもと8月26日、ぎやらりーら・ららにおいて贈呈式を行いました。

昨年度は、介護を必要とされる利用者の方が他の事業所より多いデイサポートちとせんぼに配備させていただき、今年度はおいでいただいた皆様が快適に作品をご観覧いただけるようぎやらりーら・ららに配備しました。

山形県火災共済協同組合様ありがとうございました。

[事務局長 豊田 裕一]



「やまがたアートサポートセンターら・らら」として活動しております「ぎやらりーら・らら」からのお知らせです。

第6回 山形県知的障害児者生活サポート協会 やまがた障がい児者アート公募展

今年も発掘！様々な自己表現のカタチ！

埋もれた才能の発掘!!

作品募集

第6回やまがた障がい児者アート公募展

「Art Digる〜べ」作品募集のお知らせ

応募期間 2021年11月15日(月)〜12月3日(金) [必着]

現在、やまがた障がい児者アート公募展「ART DIGる〜べ」の作品を募集しております。「えがく!つくる!そうぞうする!」たくさんのご応募お待ちしております!!

詳しくは「山形県知的障害児者生活サポート協会HP」または「山形アートサポートセンターら・ららHP」をご覧ください。

主催：山形県知的障害児者生活サポート協会
協賛：株式会社ジェイアイジー・AIG損害保険株式会社仙台支店
協力：やまがたアートサポートセンターら・らら

皆様からのお声を頂戴し、サービスの質の向上に向けて、改善に取り組んでおります。お気づきの点がございましたら、どんなことでも結構ですので、各事業所へご連絡ください。

苦情受付結果

令和3年6月1日～
令和3年9月31日

受付内容(分類・件数)	件数	処理内容(分類・件数)	件数
利用者支援に関すること	2	解決	苦情解決責任者、受付担当者との話し合いまたは苦情内容の改善
食事に関すること			
生活環境に関すること		話し合い継続	第三者委員、またはその他の方法での解決
医療看護に関すること			
利用者間に関すること		今後改善を要する	
利用者の財産管理に関すること			
職員に関すること	1		
その他	1		
合計	4	合計	4

編集後記

日が沈むのも早くなり、あっという間に冬になったと感じております。コロナワクチンの普及とともに、世の中も少しずつ変わってきていると思います。見通しが立たない不安は続いていますが、その中でもできる範囲での発散を大切にしながら、日々の生活を少しでも充実させていけるように過ごしていければと思います。

[地域生活支援センター天花 高橋 龍太郎]

皆さんからのご意見、ご感想をお寄せください。
[愛泉会 HP から投稿できます]

<http://www.y-aisenkai.com>

ひまわり (Himawari)

人権の尊重・自立支援・受容と共感
社会福祉法人 愛泉会
山形市諏訪町一丁目2番7号
TEL: 023-664-2117
発行責任者: 理事長 井上 博

第97号 令和3年 11月30日

INDEX

- P1 総合施設長より
・挑戦することの大切さ
- P1 現在の福祉情勢 10
・放課後デイの報酬改定について
- P2 支え愛
「マウンス・セラピーで感じたこと」
マッサージセラピスト 菊地 真希
- P2 まいんどパークより
～楽しく安全な乗馬活動を目指して～
- P3 特集2021年度
「僕の夢、私の夢～夢・実現のために～」
・向陽園ホームヘルプステーション心音
・グループホーム楽楽センターなかやま
- P4 事業所の紹介
・デイサポートさくら
・地域生活支援センター天花
- P5 Health&Eat
・Health: 気の溜りを解消するう
・Eat: ワイルドに負けない食事を楽しもう
- P6 愛泉会セミナー
・実践研修発表会
・「東北フォーラム2021in やまがた」の運営に参加して
- P7 愛泉会の各委員会より
愛泉会衛生委員会について
- P7 日々是好日 愛泉会で働いて・・・
車椅子を寄贈いただきました!
- P8 ぎやらりーら・らら通信
■P8 苦情受付結果 ■P8 編集後記

挑戦することの大切さ

日頃より当法人の運営にあたりましてご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。一昨年より総合施設長として事業部のまとめをしております加利屋です。機関紙への投稿というお役を頂き、何をお話させて頂こうかと考え、『スタッフも挑戦することが大切』というお話をさせて頂こうと思えます。

入社して5年目の年に当時の園長・上司・共に働く仲間そして利用者様の理解を頂きデンマークに1ヵ月行ってきました。当時の上司の紹介でデンマークに住む日本人の方を訪ね「ゆりかごから墓場まで」の実践を見学・体験して参りました。初めての海外旅行、コペンハーゲン空港までは全員の1人、行きはアムステルダムでの乗り換え(直行便もありますが費用を抑える為の格安航空券利用です)。成田を出発する時にすでに1時間以上の遅れがあり、アムステルダム空港到着も遅れ、乗り換え搭乗口まで走り乗り込んだことを鮮明に覚えています。そして、無事にコペンハーゲン空港に到着。しかし、荷物受け取りの

ターンテーブルをじっと見つめました。一向に私のスーツケースが回って来ない状況。英会話は勉強して行きましたが、ほぼ日本語しか分からない状態の私は何が起きたのか理解できず茫然としているところに、日本から同じような状況の方が数名おり、その方に着いてインフォメーションに行きました。身振り手振りを入れ「スーツケースが出てこない」状態を伝える私に、相手の方は状況を直ぐに察してくれ、スーツケースの種類が沢山載ったカタログを見せて聞き取ってくれました。私は初めて、自分の言いたいことが伝わらないもどかさ、相手が何を言っているのか分からない不安、そして、目で見て「これです」と指を指してお伝えできる「ツール」の有難さを身を持って体験することとなりました。結局、私の手元にスーツケースが届くまでには1週間程度かかり、届かなかった理由は、最初の飛行機の遅れで私は走って乗り換えができましたが、荷物は乗り遅れたというものでした。そうして周りの



社会福祉法人愛泉会 総合施設長 加利屋 裕子

方々に沢山助けて頂き私は初めての海外生活を無事に終えることが出来ました。この1ヵ月の経験は今も私の自信と強さになっていると思っています。

障がいをお持ち方に寄り添う仕事をしているからだけでなく、コロナ禍の今、ストレスフルな社会を生き抜くためにも「強さ」そして折れない「しなやかさ」「想像力と創造力」が私たちには求められています。障がいを持つ方々に経験するできことは大切という前に、私たちこそ様々なことに挑戦し視野を拡げていくことが大切だと感じています。ウィズコロナが現実的になりましたら、皆で多くの事に挑戦したいと思えます。そしてそれを、応援できる法人でありたいと思えます。

現在の福祉情勢 10

生活介護事業の報酬改定について

生活介護事業は、日中の時間に生活面の支援を行うとともに、創作的活動や生産活動を提供するサービスです。

令和3年度4月の報酬改定では、生活介護・グループホーム等のサービスにおける、個別的・専門的な支援を必要とされる方への支援について、それぞれ事業ごとに加算内容が拡充されています(重度障害者支援加算)。支援する職員には、『強度行動障がい支援者養成研修』の受講が求められ、障がい

の重い方たちもしっかりと地域の中で支えていく制度改定と考えています。生活介護では特に、ご本人の状態確認や環境の変化に適応するためのアセスメント期間が、従来に比べ長く設定される拡充が行われました。

今後も職員の積極的な研修受講を進め、専門的な知識と技術で支援を提供できるチームを目指します。そのことが、愛泉会が圏域の中で実践している、障がいの重い方たちも地域で安心して生活できる支援ネットワーク作りにつながると思います。

[デイサポートにじいる・デイサポートちとせんぼ 所長 吉田一斉]